

(別紙)

様式第1号(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	平成29年度第4回美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会
開 催 日 時	平成29年12月21日(木) 13時00分 開会 14時20分 閉会
開 催 場 所	美幌町議会第1・2議員控室
出 席 者 氏 名	【推進委員】 横山委員、山野寺委員、石川委員、信太委員、田村委員、佐々木委員、 村田委員、青砥委員、水島委員、土門委員
欠 席 者 氏 名	
事務局職員職氏名	広島総務部長、小室政策主幹、森久保計画担当主査、
議 題	1 美幌版総合戦略事業に基づく事業効果検証について 2 施策の重要業績評価指標(KPI)の見直しについて 3 情報提供について(オホーツクイメーজ発信プロモーション事業) 4 今後について
会議の公開又は 非公開の別	公開
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)	—
傍 聴 人 の 数 (会議を公開した場合)	1名
会 議 資 料 の 名 称	・美幌版総合戦略に係る事業実施結果報告 ・まち・ひと・しごと総合戦略 基本目標・KPI
会議録の作成方針	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した全部記録
	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録
	<input type="checkbox"/> 要点記録

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	<p>ころでした。この事業は、美幌町に住民票を置いていることが前提となりまして、更に北見市か網走市への病院に通う交通費の助成と定めています。これについては、この費用の一部に北海道の補助金が入っておりまして、その規程では北見市と網走市となっているため、それを適用しているとのことです。今のところはこの規定どおり進めたいので、ご理解いただきたいとのことでした。また、今後の方針の理由の中に、「妊娠前の不妊治療等も含め」とありますが、現在美幌町では、独自の不妊治療制度は設けておりませんでした。近隣市町村のこと鑑みて、町も上乘せ助成を行う方向性とのことでした。ただ、まだ予算が通っていないので、未定ではありますが、より効果的な支援を行っていくということでした。</p> <p>続いて、その下の「産後1ヶ月健康診査補助事業」についてですが、こちらについては、町の独自の事業のため、美幌町に住民票を置いているのであれば、実は札幌市でも旭川市でも、同様に交通費を支給することは可能ですとのことでした。なお28年度の実績でございますが、札幌市で受けた人4人、旭川1人、帯広1人、倶知安町1人、千葉県千葉市が1人ということで、この方たちは里帰り出産でご利用されたとのことでした。</p> <p>次に、その下のナンバー6「医師確保対策事業」についてですが、これについては、記載方法が定まらず、ご迷惑お掛けして申し訳ありませんでした。当初は、常勤医師数を指標としていましたが、この表は基本戦略3の子育て支援の箇所であるため、一旦は小児科医師・産婦人科医師数としましたが、当推進委員会において、町の医療体制が見えづらいのではというご指摘をいただきましたので、再度「常勤医師数」の指標に戻し、更に現在いる医師と求めている医師を記載するようにしました。赤字で示しております。今後も引き続き産婦人科医師の獲得については、推進していきたいとのことでした。</p> <p>次のページにいきまして、ナンバー11の「放課後児童健全育成事業」については、保護者アンケートの結果で6年生までの受入要望が多い場合、対応に向けた検討をするよう意見をいただいたところですが、担当部局としても、その結果の中で、確かに学年拡大を求める声がありましたので、正に現在検討中とのことでした。ただし、現実的に空いている教室がないという課題があるため、その確保の都合がつけば、実施していきたいとのことでした。</p> <p>続いて、ナンバー14の「子育て世帯禁煙サポート補助事業」について、これについては、結構厳しい意見をいただいたところですが、やはり子どもへの受動喫煙防止のための対策であるので、本人の意志を継続させるためにも実施していきたいと考えているとのことでした。また、推進委員会において意見のありました、禁煙成功者には定期的にアンケートを実施したり、禁煙のメリットにかかる意見について、広報や庁舎掲示板に掲載したりと、協力を得ながら周知を進めていくので、ご理解いただきたいとのことでした。</p> <p>次のページに行きまして、基本戦略4のナンバー4「ワンコインバス、乗合タクシー等利用促進事業」については、小清水高校の関係で女満別からの路線についてご意見をいただいたところですが、今後の方針の理由は変更していません。担当の部局としましては、町単位だけで検討できる間</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	<p>題ではないので、公共路線のあり方については、総合的に考えていきたいとのことでした。</p> <p>次にその下のナンバー5「美幌町まちづくり活動奨励事業」についてですが、これもご意見をいただいたところでしたが、今後の方針の理由は変更していません。前回の推進委員会において、「美幌のうた」のことがピックアップされましたが、この「美幌のうた」が採択されなかったのは事実でございますが、今までの実績では、若者の活動に対して、マチコンやハロウィンパーティーなどの取組に対して支援しており、実績として出ているとのこと。また、年齢層や団体の大小などで審査するのではないので、若者の活動かどうかではなく、町民による自発的なまちづくり活動については、これからも支援を続けていくので、ご理解願いたいとのことでした。</p> <p>ページをめくりまして、ナンバー14「国際交流事業」について、希望者が減っているのは経済的な負担が少なからずあるからではないかというご意見がございました。担当者に聞いたところ、現行の補助率は、まず学費、ホームステイ費、空港までの送迎費は100%の補助となっておりまして、あと渡航費用については70%を補助していますので、これ以上の補助は難しいことをご理解いただきたいとのことでした。</p> <p>以上、皆さまからご意見をいただき、修正及び説明の追加についてお話しさせていただきました。</p>
横山会長	<p>はい、ありがとうございます。それでは、事務局から説明がありましたが、皆さまからの意見をいただいた後の経過報告として、議会委員会への報告、並びに各部局からのリターンが返ってきまして、その関係での説明でございました。皆さまからご意見等があれば、ご発言いただきたいと思います。</p>
水島副会長	<p>妊婦さんの事業の関係について、美幌町に産婦人科がないので、北見市か網走市に行くのは通常のことと思いますが、北見市網走市以外でなければ出産できない人への補助をどうかと意見させていただいていたのですが、返ってきたコメントを見ますと、北見市網走市のみということでしょうか。</p>
小室政策主幹	<p>担当に聞きましたら、この事業は北海道の事業に乗って、補助金をいただいているとのこと、規程でおそらく近隣都市という言葉が出ているのだと思います。そのため、北見市網走市に限定されているというのが、担当部局の回答になります。</p>
水島副会長	<p>仕方がないのかなと考えるしかないと思いますが、できれば、リスクのある方については、ICUがしっかりしたところといった条件などありますが、美幌町から出してあげてほしいなと思います。女性は妊娠すると、リスクというのはものすごく不安に思いますので、町でバックアップしてくれているところがあると、ちょっと安心できる場所があると思いますので、町単独でもなんとか出していただければというのは思います。</p>
広島総務部長	<p>美幌の国保病院に産婦人科がなくなって、国保病院としては近隣の北見網走と提携して、よろしく願いますということで、年末には町長がご</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	<p>挨拶に回っています。前提として、救急車の搬送もそうなのですが、北見網走を前提として行っています。リスクのある方については、やはり札幌で産んでいらっしゃる方もいますが、その方を見極めるのも難しいのかなと感じています。例えば、年齢的なリスクで札幌で産みますという計画出産の方など、様々な事情で北見網走以外で出産される方がいます。そういった方たちを一括りにしていいのかという課題が残りますので、そこは担当部局として支援のあり方について検討していただきたいということを、予算編成の中で、指摘していきたいと思っています。</p>
水島副会長	<p>よろしく申し上げます。</p>
横山会長	<p>石川専務の方から、コアドライの関係で何かご紹介いただけることができましたら、お願いします。</p>
石川委員	<p>このコアドライの製品開発につきましては、今年の10月24日～26日にかけて、東京ビッグサイトで展示会がございました。コアドライの規格外の製品を「おいで家具」に持ち込んで、そこで幼児用の机とイス、演台、コート掛けを作っていただいて、現物をコアドライと共に展示させていただきました。私も最初の方に参加してきましたが、非常に好評でした。こういったものは、非常に手間がかかって値段も高いのですが、都会の人はコストのことは言わないようで、ものが良ければ売れるのかなという印象を受けております。</p> <p>それから、コアドライの生産の方は、乾燥機、土場の舗装工事、含水率を図る設備など含めて約9千5百万円くらいでしたが、11月末に整備が終わりました。今後、年明けになります。生産体制は整えられた状況でございます。</p>
横山会長	<p>ありがとうございます。他どなたかございますか。</p>
村田委員	<p>基本戦略1のみらい農業センターの関係ですが、最近北海道新聞にアスパラガスの記事がずっと載ってて、あれを読みますと、まだまだ拡大すれば市場はあるのではないかと。まあ、拡大するのは難しいと書いてありましたが、市場としてはかなりあるのではと思うので、もう少しここに力を入れてもいいのではと思っています。あの記事は美幌町から切っ掛けを作ったものなのでしょうか。</p>
横山会長	<p>ここ3日連続の上中下のものですね。本日で終わりでしたが。田村校長先生、今年から美幌高校でも伏せ込みアスパラに取り組んでいると思いますが、何かお話しいただけますか。</p>
田村委員	<p>午来主幹と様々連携して取り組んでいますが、まだまだなところですかね。</p>
横山会長	<p>聞いたところによると、設備にとってもお金がかかると。そこまで投資するのは農家ではなかなか難しいので、農家戸数が増えないと午来主幹からお聞きしました。午来主幹の方でも定植する苗について、今の数を揃えるのもようやくとということ、あれを増やすのも容易ではないとお聞きしています。現状は高校含め7戸で、確かに良いものであるのもっともって増えていけばいいなと思っています。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
山野寺委員	<p>拡大するのに一番ネックになっているのが、株の養成が大変というのがあって、今はみらい農業センターでやっていただいているのが、2年かけて株を養成していただいているので、2年かかるということは2年その畑は使えないということ。それを農家の方にやっていただくことになると、2年何も植えられないことになり、それに対する対価となると、2年分の収穫の対価を払うことになる。そして、技術のことがあって、今はみらい農業センターが一元的にやっていただいているので、ある程度まとまった高品質の株を作っていただいているが、生産者が増えることによって、その品質がバラバラになる。株をどれだけ上手く作れたかによって、その後の収量、品質が決まるので、品質自体もバラバラになる可能性があるのが難しいという、大きな2つの課題があります。</p> <p>農協としても増やしたいという思いはあって、手立てを考えているのですが、技術的な課題がクリアできていないので、お金を出せば良いだけではないので、そこが難しいかなと思っています。</p>
横山会長	<p>ありがとうございます。</p>
小室政策主幹	<p>道新の記事の関係ですが、今の支局長が特集でやりたいというお話を聞いたことがありましたので、支局長が取り上げたいと考えてできあがったのではないかなと思います。</p>
横山会長	<p>他、何かございますか。よろしいですか。ではこれで28年度の事業効果検証について決定ということにさせていただきます。7月8月と2ヶ月にわたりありがとうございました。では、続いてKPIの見直しについて事務局より説明をお願いします。</p>
小室政策主幹	<p>はい、その前に、会長からもありましたが、これを28年度の事業効果検証の最終版とさせていただきたいと思いますので、今後国又は北海道から提出を求められましたら、この書類を提出させていただきたいと思いますので、ご了承いただきたいと思います。</p> <p>それでは、施策の重要業績評価指標（KPI）の見直しについてということで、A3版の「まち・ひと・しごと総合戦略 数値目標・KPI」という表をご覧ください。</p> <p>これは、各基本目標の数値目標と、その下にある施策のKPIを一覧にして、進捗状況が分かる表となっています。昨年もKPIの見直しは行っていますが、この表は今年初めて使用しますので、簡単に説明させていただきます。</p> <p>美幌版総合戦略に記載されている全ての数値目標とKPIを記載した表になっていまして、左側から、設定項目、その隣は基準年度と進捗状況の基準となる値が記載されています。そして、平成27年度から平成31年度までの実績値と進捗率を記載できるようになっていまして、その右側には目標年度の31年度の目標値が設定されています。その隣には、「実績値の取り方」を記載していきまして、さらにその隣には「進捗率計算方法」を記載しています。</p> <p>この「進捗率計算方法」ですが、2種類ありまして、単年度の実績値を目標値で除して出したものと、もう1つは過年度の実績値を累計した値を目標値で除して出したものがあります。一番上にある「農畜産物販売額」は単年度の実績値を目標値で除したもので、進捗率は114.4%と目標値を達成しています。そして、そこから8つほど下にある「起業案件数」</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	<p>は、過年度の実績値を累計した値で進捗率を出していますので、記載のとおり、平成27年度が6件、28年度が4件の実績でしたので、累計で10件となっています。この実績値で目標値を割ると、目標値に対して66.7%の進捗率となっています。</p> <p>28年度の実績値を見ていただくと、いくつか100%を超えているものがありますが、単年度の実績値から進捗率を出すものについては、年度によって数字が上下しますので、今のところ修正は考えていません。ただ、過年度の実績値の累計から進捗率を出すものの中で100%を超えている「店舗リフォーム数」と、基本戦略4にあるKPIの3番目にある「住民主体による地域活動件数」につきましては、どちらも28年度時点で目標値を達成していますので、目標値の上方修正を図りたいと考えています。</p> <p>そこで、KPIの見直し案について説明させていただきますので、次の資料、A4版の「美幌版総合戦略の施策の重要業績評価指標（KPI）の見直し（案）について」という資料をご覧ください。</p> <p>まずは1つ目の基本戦略1の施策、「商工業の振興」の中の「商店街活性化支援」について、ここではKPIを「店舗リフォーム数」としてしました。次のページにアクションプランの該当ページを抜粋していますが、この施策には6つの個別事業をぶら下げています。その中の、一番上にある「がんばる商店街応援事業」の指標値を、そのままKPIに設定しました。</p> <p>平成27年度にKPIを設定したときは、この事業はできたばかりで、更に3年間の事業としてスタートしたものでしたので、1年間に15件という目標を立てていました。しかし、制度化が図られて、27年度、28年度の実績を見てのとおり、大変反響が良くて、商店街活性化だけでなく、建設業界の経済の活性化や定住にも資するというので、先般、商工会議所の要望としても継続が盛り込まれていましたが、町としても継続については前向きに検討することとなっています。そのため、アクションプランの事業期間としても、平成29年度までだったのをとりあえず総合戦略の期間である31年度まで実施したいということで、矢印を伸ばしました。</p> <p>さらに数値ですが、原課において今後のことを想定していただいたところ、平成29年度は21件、30年度は15件、31年度は10件とし、平成28年度までに58店舗に活用されていることを踏まえ、合計で104件というKPIを新しく設定したいという原課の考えが示されています。まず、これについて皆さまのご意見を伺いたいと思います。よろしくお願ひします。</p>
横山会長	<p>今事務局から説明をいただきました、100%を超えている部分のKPIの修正について、まず1つ目の店舗リフォーム数について、当初45件だったものを104件と修正させていただきたいということでございます。これについて何かご意見等ございますか。佐々木委員いかがですか。</p>
佐々木委員	<p>町の活性化になっていますし、継続することや件数を上げることにについてはいいことだと思います。店舗なんかも、古くなっているものが大分ございますので、目標値を上げて進めていくというのは、私は賛成します。</p>
横山会長	<p>ありがとうございます。他にございますか。よろしいですか。では、このような形で修正させていただきます。</p> <p>では、次をお願いします。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	<p>次の見直し案ですが、前のページに戻っていただいて、2つ目、基本戦略4の施策「地域コミュニティの活性化」という施策のところで、「住民主体による地域活動件数」をKPIに設定しています。また資料を2枚めくって3枚目をご覧ください。この施策のKPIにつきましては、4つの事業をぶら下げています。このうち上二つの事業、「美幌町まちづくり活動奨励事業」と「美幌町まちづくり参画プロジェクト」の2つの実績を合わせたものを、KPIとしてカウントすることにしています。当初4件と設定していたのは、「まちづくり活動奨励事業」のみをカウントしていたのですが、平成28年度から美幌高校の生徒さんたちと、マテリアル班ですが、「まちづくり参画プロジェクト」が実施されておりまして、新たにこの目標値を加えてKPIを上方修正図りたいというものでございます。</p> <p>単年度で活動奨励事業3件、まちづくり参画プロジェクトが1件と計画し、29年度から31年度までと28年度までの実績値を合計し、31年度までの5年間の数値を16件という目標にしました。高めの目標かなと思ったのですが、活動奨励事業の認知度も高くなってきましたし、高校生を含めたまちづくり参画プロジェクトの継続にも期待しているところがございますので、この数値を設定したいと思います。これにつきまして皆さまのご意見を伺いたいと思います。よろしく申し上げます。</p>
横山会長	<p>はい、ありがとうございます。これについて皆さまのご意見をお聞きしたいと思います。村田委員、前回活動奨励事業についてご意見がございましたので、数が増えたことについて何かございますか。</p>
村田委員	<p>上昇させたのは、何かアテがあるのでしょうか。動きを察したとか。</p>
小室政策主幹	<p>まちづくり活動奨励事業につきましては、予算上も3件を見越してまして、今後も活発なまちづくりに期待しているというのが1点。もう1点が、先ほどもいいましたが、まちづくり参画プロジェクトにおきましては、高校生によるプロジェクトを引き続き行っていただきたいという、継続に対する期待を込めて、29年度以降4件と設定させていただきました。何か特別先に見えるものがあるかと言われると、そこは不確定なところがございます。</p>
横山会長	<p>田村委員から何かございますか。</p>
田村委員	<p>まちづくり参画プロジェクトについては、昨年度も今年度も、商工会議所さんにご協力いただきながら、この事業をやらせていただきました。生徒への成果は、見ていて非常に大きいものがあるなと感じております。ただ、先ほどマテリアル班とありましたが、私としては、もっと内容を広げていただいて、農業科の生徒だけでなく、普通科の生徒も視野に入れて、膨らませることはできないのかなと思っています。学校としてはありがたいと思っています。</p>
横山会長	<p>ありがとうございます。他ご意見ございますか。では、なければ、これにつきましても4件を16件とすることに決めさせていただきたいと思っております。</p>
小室政策主幹	<p>ありがとうございます。皆さまからこの上方修正についてご賛同いただきましたので、これを元に、美幌版総合戦略の改訂を毎年3月に行ってい</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p>横山会長</p> <p>小室政策主幹</p>	<p>ますので、今回も30年3月に目標値の変更を含めて、行いたいと思いますので、よろしく願います。</p> <p>はい、では次第の3番目、情報提供についてということで、事務局から説明をお願いします。</p> <p>情報提供についてですが、レジュメにオホーツクイメージ発信プロモーション事業とありますとおり、この事業の情報提供になります。この事業については、昨年7月の創生推進委員会で弱冠お話しをしていました。その時は、このような事業名ではなく、「市町村連携によるオホーツク統一イメージの形成・発信プロジェクト」という仮称で説明させていただいたところがございます。それが今は「オホーツクイメージ発信プロモーション事業」となっています。</p> <p>この事業の目的でございますが、皆さまもご存じのとおり、オホーツクは、北海道内でも農業産出額は2位、漁業生産額は1位、木材・木製品出荷額も1位という、豊かな資源に恵まれた土地であるにもかかわらず、同じ北海道の十勝にイメージや知名度、好感度では大きく劣っていることから、オホーツク管内全域にわたって、これまでになく大規模なプロモーション活動を行って、オホーツクのイメージアップ・浸透、ブランド化を図ることを目的に推進しているところでございます。</p> <p>我々も説明を受けたのが6月7月くらいでしたが、それから1年以上の時間をかけて、18市町村が会議を重ねまして、ようやく今回、事業実施の運びとなりました。</p> <p>内容についてですが、こちらのクリップ止めされた資料をご覧ください。1枚目に報道関係者向けの発表資料となっておりまして、11月28日にオホーツク総合振興局により、北海道内の各メディアにお知らせされています。</p> <p>次のページにあるのがイメージコンセプトとなっておりまして、それが「オホーツクール」です。「オホーツク」と「クール」をかけた造語となっておりまして、「クール」には、冷たい、爽やか、カッコイイなどの多面的な意味があることと、「クールダウン」などの癒しの意味も込められています。こういったコンセプトは、広告代理店などの企業がプロポーザル方式によってプロモーション企画を持ち込んでいただいて、我々18市町村に提案してくれたものの中から審査し、オホーツクのプロモーションはこれで行きましようかと決定したのが、この「オホーツクール」をコンセプトとした企画内容でございました。この企画は、10社ぐらい手を挙げた中から最終的に決まったものですが、広告代理店大手の電通とJTBが共同で提案した内容でして、まずは北海道オホーツクの知名度向上を目的として、拡散力を重視したものとなっております。</p> <p>この情報の拡散のために、電通はお笑いの吉本興業とタイアップしていただきまして、芸人を起用しました。それが、ウーマンラッシュアワーの村本大輔さんという、何かと辛口なトークでテレビやインターネット上で炎上させる芸人さんです。そして、この企画の大筋として、何かと世間を炎上させ疲れさせる村本さんが、オホーツクールで癒されるというストーリーです。</p> <p>裏のページには、「炎上さんいらっしゃい」という村本さんの似顔絵と、このおじ様方は市町村長でして、18市町村長が迎え入れるようなデザインとなっており、このストーリーを表したポスターとなっております。実際のポスターはこちらです。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	<p>(皆さまにポスター2種を提示)</p> <p>既に、先週の13日(水)に、東京でこのオホーツク事業発表会が開催され、様々なメディアで村本さんがPRしている、中には中傷している発言で、注目を集めています。</p> <p>この「オホーツク」と「炎上さんいらっしやい」のデザインは、50部ずつ届いていますので、ポスターにして町内各施設に掲示を行い、町民の方、観光客の方たちの目に触れるようにしていきます。</p> <p>次のホチキス止めした資料は、インターネット上で新しく開設したオホーツクの専用Webページです。村本が毒舌を言いながらオホーツクを旅する様子や、オホーツク管内の大学生と討論する内容などが掲載されています。「オホーツク」「炎上」と検索すると、一番上に出てきますし、村本さんのツイッターでも、オホーツクのことをけなしながら褒めながら、色々と話題に出ています。是非お時間のあるときにご覧ください。また美幌町のホームページにも専用ページを設けていますので、そこからもリンクしています。</p> <p>そして、次の資料2-1と記載された資料をご覧ください。「「オホーツク」の発信と地域意識醸成について」とありますが、このプロモーション事業をより効果的・効率的に進めるためには、やはりまず地域に浸透することが必要となってきますので、今後、オホーツク管内においては、この「オホーツク」というロゴをなるべく露出し、まずは住民の皆様方にPRして、そしてオホーツクを国内外に向けてPRして、周知していこうとなっています。</p> <p>そこで、この「オホーツク」というロゴですが、管内の個人、事業者、団体は、事前に使用許可を得れば、使用することができます。5ページ目に、「オホーツク」ロゴタイプ使用基準、その次に使用マニュアルを付けています。このデザインについては、商品にも付けることができますので、ご協力いただける団体、個人の方への紹介をお願いしたいと思います。使用基準や使用マニュアルがありますが、不明な点については、振興局地域政策課か役場の計画担当森久保にご相談ください。オホーツクをPRしていくためにも、このロゴを使っていただきPRしていただければと思います。</p> <p>このプロモーション事業については、3カ年事業ということでございますので、31年度までは少なくとも進めていくことについて、18市町村の意思統一が図られているところでございます。このロゴも、引き続き使用することが可能だと思いますので、くどいようですが、ご支援とご協力をお願いしたいと思います。以上です。</p>
横山会長	<p>はい、ありがとうございます。今、情報をいただきましたことについて、何か聞きたいことなどありますでしょうか。</p>
村田委員	<p>聞いた限りでは、何をしようとしているのか、イメージを上げようとしているのか。特に何かを作って、象徴的に何かをしようというわけではないのか。</p>
小室政策主幹	<p>北海道で言えば、十勝は本州の方は分かるのですが、オホーツクと言ったら、どこにあるのか分からない、何があるのかも分からないというところがあって、まずは、オホーツクというのがどこにあるのかを含めて、オホーツクというものを広くPRしていこうということで、それには何が一番良いのかということで、プロポーザル方式によって企業のプロの目線か</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	ら提案された企画の中で、村本さんというツイッターとかネット上で情報力がある、賛否含めて影響力がある人なので、その情報力を借りてオホーツクを植え付けていこうというところから始まっている事業です。2年目以降は方針は変わりませんが、具体的に何を行うかについては、これから協議していくこととなります。何かを作るというよりは、情報発信が1年目の事業内容となります。
田村委員	十勝は、フードバレー十勝というものをやっているじゃないですか。あれとは性格が違うのか。
小室政策主幹	違いますね。
村田委員	他の振興局も同じことを行っているのか。
小室政策主幹	いえ、オホーツクの振興局長とか副振興局長が特に力を入れておられて、振興局だけでなく皆で、18市町村全員が一体となって進めていこうと。やはり当初は、何をやるのか、振興局が示してといった感じだったので中々進まなかったのですが、ようやく18市町村の首長方が、オホーツクを売るというのは必要なので、今までと違った形と継続が力だよねという、1年ではとうてい浸透なんかしないので、継続して行くべきだよねという話のもと、進められているものです。十勝を引き合いに出すのは、十勝はとても良いイメージが定着していて、同じ産業クラスを誇っているのに、十勝を見習っていこうというのが発端でございます。
村田委員	これでテレビコマーシャルとか出すのか。インターネットで関係する市町村にリンクして出てくるとか。
森久保計画担当主査	お配りしている資料の中で、炎上さんいらっしゃいという資料がありましたが、これが専用Webサイトとなっていて、ここには18市町村全てにリンクが繋がっています。また、このコンセプトが、村本さん含む炎上さんが、オホーツクールで癒されるというものになっていますので、オホーツク管内を旅する企画も今できています。その第1弾が、先日美幌町の美幌峠に撮影に来ました。第2弾、3弾は1月に撮影予定で、オホーツク管内の良いところを、村本さんがPRしながら悪口を言いながら、拡散していく内容となっています。
小室政策主幹	テレビなどの地上波の放送については、実際にはありませんが、YouTubeでは映像とかが見ることができるようになっています。テレビを使うよ何千万もかかってしますので、あまり経費をかけず、より効果的なPRということです。この事業自体は2千万円の事業で、美幌町で行けば55万6千円の負担金となっております。
森久保計画担当主査	ツイッターでは、村本さんがオホーツクに関係することをぼんぼんつぶやいてくれるんですよ。そこで今は、オホーツクールというツイッターのアカウントができておられて、村本さんがオホーツクのことをつぶやいたら、オホーツクールがそのつぶやきをリンクさせて、お互いやり合っているような掛け合いが、実はツイッター上で頻繁に行われています。そうすることによって、まずは村本さんのファンの人たちが必ず見るようになっていきますし、そこからじわじわと認知度が上昇したり、注目を集めて

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
村田委員	<p>います。</p> <p>是非、冬まつりのことも載せてもらいたいものだ。</p>
森久保計画担当主査	<p>そうですね、最終的には、オホーツクとして集めた注目を、ゆくゆくは各市町村に落とし込んでいくことが、継続して行く上での狙いですね。</p>
小室政策主幹	<p>実際、毎日自分もツイッターを見ているのですが、リツイートとして村本さんのファンが出しているコメントを見ますと、「へ～オホーツクってそんなところなんだ」とか「村本さんが言ったら行きたくなった」とか、そういった反響があるのは事実で、村本さんがつぶやいたことによってオホーツクのことが少しずつ広まってきていて、さらにそれを見た人たちから更に広がるといった効果が出ています。</p>
森久保計画担当主査	<p>1つお願いがあるのですが、関係団体に皆さまには、帰りにこのポスターを持ち帰って掲示をしていただきたいと思います。是非、貼っていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。</p>
水島副会長	<p>このオホーツクールのロゴについて、特許みたいなものは取っているのでしょうか。何かとすぐに真似されてしまう危険性がありますので、せっかくだからそうした特許などを取って、大々的に広まってきたときに、盗用されないで済むのかなと。</p>
森久保計画担当主査	<p>特許は取っていないですね。この使用許可については、18市町村で構成した戦略推進委員会で持っています。今のところ、ステッカーとかを作って商品に貼っていいよとなっているんですね。もちろん使用基準を満たしたものですが。確かに、特許については話に出てきていないので、伝えておきます。</p>
横山会長	<p>信太委員の方から、オホーツク観光連盟とか阿寒摩周国立公園の関係などで、これとのコラボとか、観光の関係で関わる部分はございますか。</p>
信太委員	<p>11月にオホーツク観光連盟の会議がありまして、この件について振興局の副振興局長が来て説明がありました。観光関係者にとっても、オホーツクというイメージの発信については、とても期待しているところであります。今まで、オホーツクブルーだとかオホーツクレターなど、色々な企画を振興局ではやってきたのですが、なかなか集客に結びつかず、苦戦していました。これは斬新な取り組みで、電通さんが関わっているとのことで、さらに村本さん、この間テレビで時事ネタをやったということで、非常に注目度も高い、いい人をチョイスしてくれたなど、観光関係者も非常に期待しています。</p>
小室政策主幹	<p>プロポーザル審査の中では、オホーツク怪獣を活用したものなど様々出てきたのですが、それも2つくらいの企業から出ていましたが、最終的にはこの企画に決まりました。ロゴも個人的に結構気に入っているのですが、これを併用しながらこれからオホーツクを売っていくことになるのだろうと思っています。</p>
横山会長	<p>ありがとうございます。他に聞きたいことはございますか。それでは、</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>以上で情報提供ということで、ありがとうございました。 では、最後になりますが、今後についてということで、お願いします。</p>
小室政策主幹	<p>今後についてでございますが、役場内部のことになりますが、明日から新年度予算のヒアリングが始まります。その後、町長以下で予算の査定が行われまして、2月の中旬から下旬にかけて報道発表を行うことになっていきます。報道発表後に、事業費及び事業ごとの指標を皆様方にお示しし、同時に今回ご賛同いただいた施策のK P Iの修正を行って、総合戦略の改訂を、3月中下旬に予定しております。いつもどおり、事前に日程調整をさせていただきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
横山会長	<p>今後についてということで、年明けの3月下旬くらいになるとのことですので、皆さままたよろしくお願ひします。何かこの関係についてご意見等ございますか。全体を通して何か意見とか言い忘れとかありませんか。よろしいですね。それでは、締めめの挨拶として、水島副会長、お願ひします。</p>
水島副会長	<p>皆さま、まだ1年経っていませんが、1年お疲れ様でした。よいお年をお迎へください。</p> <p style="text-align: right;">了</p>